

令和 7 年 10 月 12 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム 久米の家
サービス種類…認知症対応型共同生活介護
共用型認知症通所介護

会議開催日…令和 7 年 9 月 26 日（月） 14 時 30 分～15 時 30 分まで

開催場所…グループホーム 久米の家 ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	5 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	0 人	その他（ほっと職員）	2 人

議事

○前年度の外部評価の改善計画の経過

改善計画中の経過を報告する

○8～9 月の活動報告と事故・苦情報告とその対応について

利用者 8 名（女性 5 名 男性 3 名）

共用型通所 1 名（女性 1 名）

年 齢 平均 86.2 歳

介護度 介護 1（4 名） 介護 2（1 名） 介護 3（2 名）

介護 4（0 名） 介護 5（1 名） 平均 2.1

共用型通所 介護 1（1 名）

職 員 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名

介護職員 9 人（常勤 7 人（内短縮時間制度利用 2 名） 非常勤 2 人）

介護福祉士取得 6 人＋2 人

認知症基礎研修 7 人＋1 人

調理職員 4 名（非常勤 4 名）・・・1 名休職中

＊10 月から介護職員 1 名採用（介護福祉士・認知症実践者研修修了者）

・行事やレク等報告

パワーポイントを使い生活の様子や行事・レクの様子を写真で流す。8・9 月も地域交流「ギター演奏会」を行い地域住民の参加も多かった事を報告。

ご利用者様の日々の生活の様子や秋の運動会をホーム内で開催し白熱した様子も写真で報告する。

・感染・事故・苦情報告

感 染	<p>7/24 コロナ ご利用者 3 名 職員 2 名 対応 感染経路不明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生後すぐに陰性職員は N95 マスクに切り替え、発生時より感染が広がる事なし。 ・今回陽性ご利用者の中に多動の方がおられた為に、陰性のご利用者様を居室対応に切り替えた。（ホールがレットゾーンになってしまった為）
事 故	<p>1 件 転倒骨折事故（右大腿部転子部骨折）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/10 転倒事故発生 救急車で日赤に搬送 右大腿骨転子骨折にて入院 8/12 ガンマネイル術式で手術 8/13 リハビリ開始 歩行器で歩けるくらいまでのリハビリ 8/25 退院 ・ ご家族県外で体調不良ありにて 2 週間の入院支援は計画作成 担当者が毎日夕食介助とイブニングケアに行く。その様子は、 ご家族同意のもと「LINEWORKS」で他職員とも情報共有する。
苦 情	<p>1 件 コロナ時の介護職員の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 時前コロナ発生の期間中に短期記憶障害があるご利用者様が感染対応中の理解が乏しく他ご利用者の居室に行こうとしたのを介護職員が理由も聞かずコロナを理由に行動を止めてしまう。ご利用者行動を止められた事に不安を覚えご家族にご自分のスマホで連絡される。心配になったご家族が事業所に連絡し、夜という事や業務以外に感染対策で気持ちに余裕がなかった介護職員の電話対応が悪かったと翌日ご家族から連絡あり。 <p>【対応】</p> <p>ご家族様話を傾聴し、対象の職員からも聞き取りを行い事業所で話合う。気持ちの行き違いはあるがご利用者様やご家族様を心配や不安・不快にさせてしまった事は事実でありご利用者様やご家族様に謝罪し、職員全員で研修（認知症について・マナー・電話対応・相手の気持ち）を行った事を報告する。また、発生時の時間はペア職員がおり対応を代わるなどの協力も必要な事も話し合い報告しました。ご家族様も納得され引き続きホームでの生活を望まれました。他のご家族にもお手紙で苦情があった事を報告し対応も含めて他のご家族にも共有しました。</p>

* 共用型通所ご利用者のヒヤリハット・事故・苦情はなし

○委員会活動

・業務継続委員会

9 月は防災月間でもあり職員の自宅の防災力の強化月間にしました。

自宅の防災力状況をアンケート（現状）

アンケート集計 委員会から改善やお勧め防災対策や商品をアドバイスでまとめ

配布しました。月末には、改善報告の再アンケートを行い、改善に繋がった事を確認しました。

○意見交換

(地域住民) 苦情の対応が傾聴を基本にされ適切に対応されていた。

(地域住民) LINEWORKS について

近年情報化社会で何でもデジタル化になっているが、ついていけない事がある。自分はまだアナログな仕方で情報共有をしたい。

➡情報共有の仕方は今後ご家族様との相談し決めていきたいと思っている。また、情報共有を分割してそれぞれにあった形での方法を検討して行く。

(地域住民) 災害の話から火災時久米地区が火災になれば久米の道路に消火栓があり交通整理の必要性がある。昔久米地区が火災時に野次馬の車や無断駐車車が道路に停めてあり消火に影響があった過去があり、全職員の顔を地域も覚えていないので対策を考えて欲しい。

➡一時避難場所を事業所で考えると共に職員は「久米の家職員です」パネルを車に積んでおき必要時パネルを出して走行する案を提案する。

(事業所) 先日大雨雷の日に 14 時から 15 時まで事業所やその付近の家が停電となったが日頃の訓練成果もあり職員はスムーズに対応ができ、ご利用者の混乱や体調不良もなく過ごせた。

➡(地域住民) かなり暑い日だったが冷房がなくても大丈夫だったのか？

➡(事業所) 充電式のサーキュレーターがあった事と手の平を氷や保冷剤で冷やして対応した事など伝える。停電であらためて電力の大切さを感じた。

(行政) 苦情や事故報告などを詳しく推進会で議題にされ、風通しのよい会だったと感じた。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○